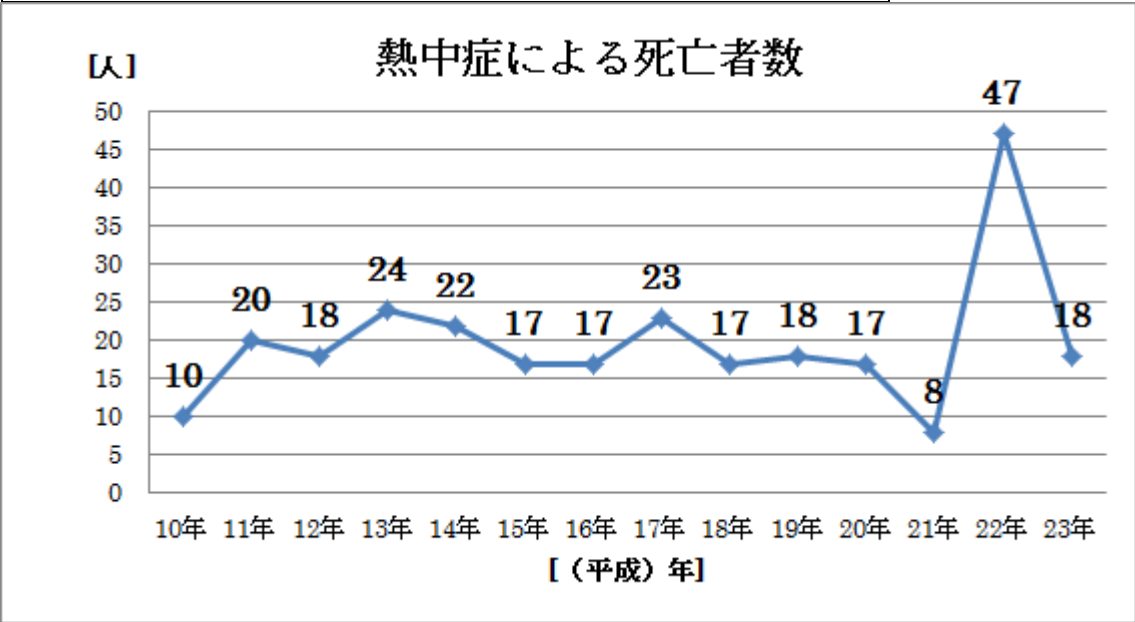


職場での熱中症による死亡災害の発生状況(平成 23 年)

1 熱中症による死亡者数の推移(平成 10 年～平成 23 年分)

職場での熱中症による死亡者数は、統計を取り始めた平成9年以降では、平成 22 年の 47 人が最高であった。それ以外の年は、概ね 20 人前後の年が多く減少傾向を示していない。

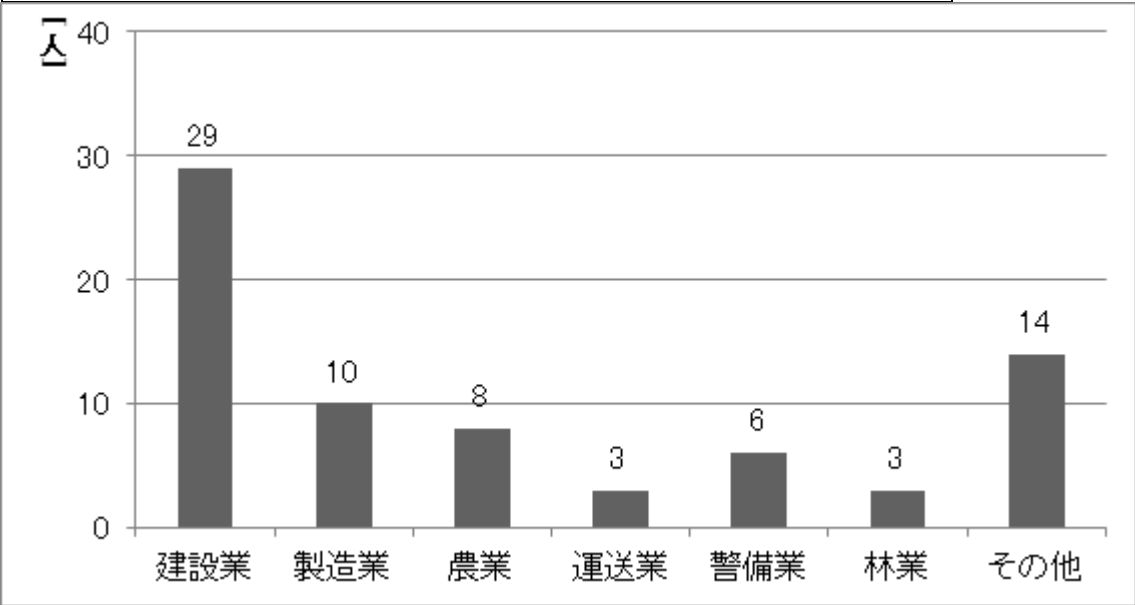
熱中症による死亡災害発生件数の推移(平成 10 年～23 年)								
年(平成)	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年
人	10	20	18	24	22	17	17	23
年(平成)	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	H10 以降の平均	
人	17	18	17	8	47	18	20	



2 業種別発生状況(平成 21～23 年)

過去3年間(平成21～23年)の業種別の熱中症の死亡者の発生状況をみると、建設業が多く全体の約4割を占めている。次いで製造業であるが、昨年は死亡者の発生がなかった。

熱中症による死亡災害の業種別発生状況(平成21～23年)								
業種	建設業	製造業	農業	運送業	警備業	林業	その他	計(人)
平成21年	5	1		1	1			8
平成22年	17	9	6	2	2	1	10	47
平成23年	7		2		3	2	4	18
計(人)	29	10	8	3	6	3	14	73

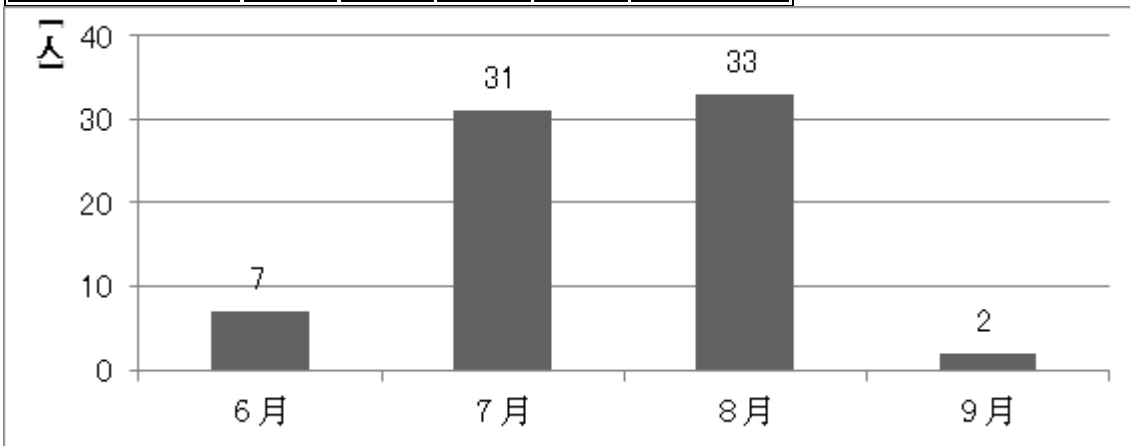


3 月・時間帯別発生状況

1. (1)月別発生状況(平成21～23年)

過去3年間(平成21～23年)の月別発生状況をみると、7月及び8月に全体の約9割が発生しているが、昨年は6月が多い。

熱中症による死亡災害の月別発生状況(平成 20～22 年)					
	6月	7月	8月	9月	計(人)
平成 21 年		1	7		8
平成 22 年	2	25	19	1	47
平成 23 年	5	5	7	1	18
計(人)	7	31	33	2	73



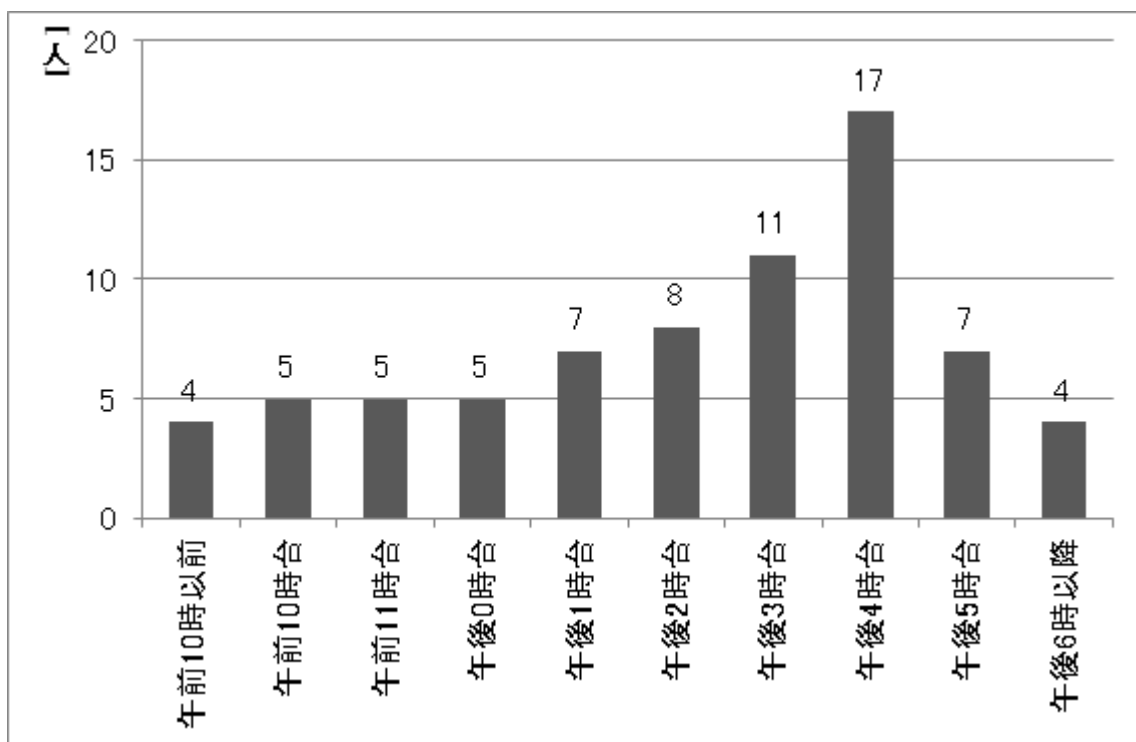
(参考)熱中症による死亡災害の月別・業種別発生状況(平成 23 年)					
	6月	7月	8月	9月	計(人)
建設業	2	1	4		7
製造業					
農業		2			2
運送業					
警備業			3		3
林業	2				2
その他	1	2		1	4
計(人)	5	5	7	1	18

1. (2)時間帯別発生状況(平成 21～23 年)

過去3年間(平成 21～23 年)の時間帯別発生状況をみると、午後1時台から午後5時台の間に約8割が発生し、特に午後3時台から午後4時台に全体の約4割が発生している。

熱中症による死亡災害の時間帯別発生状況(平成 21～23 年)											
時間帯	午前 9 時以前	午前 10 時台	午前 11 時台	午後 0 時台	午後 1 時台	午後 2 時台	午後 3 時台	午後 4 時台	午後 5 時台	午後 6 時以降	計(人)
平成 21 年				1	2	1		4			8
平成 22 年	2	3	1	4	4	5	9	11	4	4	47
平成 23 年	2	2	4		1	2	2	2	3		18
計(人)	4	5	5	5	7	8	11	17	7	4	73

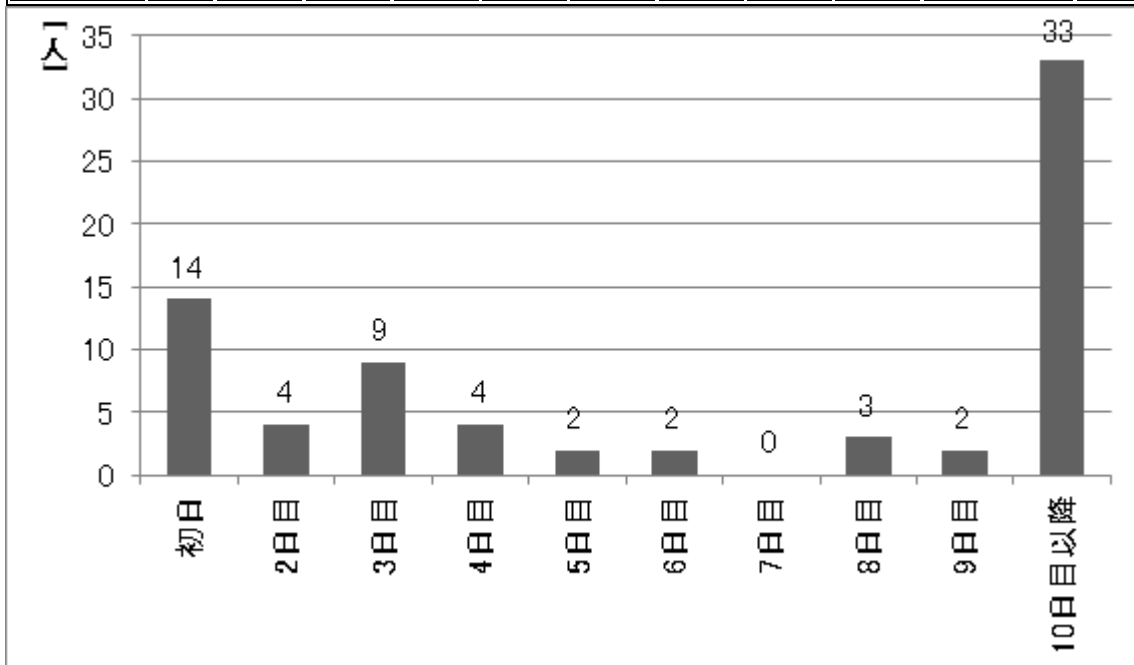
※ 午前 9 時以前は午前 0 時台から午前 9 時台まで、午後 6 時以降は午後 6 時台から午後 11 時台までを指す。



4 作業開始からの日数別発生状況(平成 21～23 年)

過去3年間(平成 21～23 年)の作業開始からの日数別発生状況をみると、全体の約5割が作業開始から7日以内に発生している。

作業日数別被災状況(平成 21～23 年)											
作業日数	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目以降	計(人)
平成 21 年	4	1	1			1				1	8
平成 22 年	6	3	7	1	2	1		2	1	24	47
平成 23 年	4		1	3				1	1	8	18
計(人)	14	4	9	4	2	2		3	2	33	73



5 平成 23 年の熱中症による死亡災害発生状況の詳細

番号	月	業種	年代	事案の概要
1	6	建設業	30歳代	被災者は、浄水場において、除草作業の業務に従事していたが、午後3時過ぎ頃、体調不良を起こし、その後死亡した。
2	6	清掃業	40歳代	被災者は、不燃物等埋立地において、選別作業に従事していたが、午後5時過ぎ頃、体調不良を起こし、その後死亡した。

番号	月	業種	年代	事案の概要
3	6	建設業	20歳代	被災者は、建設物解体現場において、解体の業務に従事していたが、午後4時過ぎ頃、体調不良を起こし、その後死亡した。
4	6	林業	50歳代	被災者は、山林において、伐採の業務に単独で従事していたが、午後2時過ぎ頃、うなだれているところを発見され、その後死亡した。
5	6	林業	60歳代	被災者は、竹林において、伐採の業務に従事していたが、午前11時過ぎ頃、体調不良を起こし、その後死亡した。
6	7	農業	50歳代	被災者は、ビニールハウス内において、農作業に単独で従事していたが、午前8時過ぎ頃、体調不良を起こし、その後死亡した。
7	7	建設業	20歳代	被災者は、工事現場において、基礎工事の業務に単独で従事していたが、午前10時過ぎ頃、体調不良を起こし、その後死亡した。
8	7	卸売・小売業	30歳代	被災者は、倉庫内において、倉庫整理作業に従事していたが、午後5時過ぎ頃、体調不良を起こし、その後死亡した。
9	7	農業	10歳代	被災者は、農地にて、農薬散布の業務に従事していたが、午後3時過ぎ頃に倒れ、その後死亡した。
10	7	卸売・小売業	30歳代	被災者は、工場内において、仮設材の加工作業に従事していたが、午前11時過ぎ頃、体調不良を起こし、その後死亡した。
11	8	建設業	50歳代	被災者は、工事現場において、電気設備工事に従事していたが、午後1時過ぎ頃、倒れているところを発見され、その後死亡した。
12	8	警備業	60歳代	被災者は、残土処分場の出入口において、交通誘導作業に従事していたが、午後1時過ぎ頃に倒れているところを発見され、その後死亡した。
13	8	警備業	40歳代	被災者は、工事現場において、交通誘導作業に従事していたが、11時過ぎ頃に体調不良を起こし、その後死亡した。
14	8	警備業	30歳代	被災者は、工事現場の出入口において、交通誘導作業に単独で従事していたが、午後3時過ぎ頃、体調不良を起こし、その後死亡した。

番号	月	業種	年代	事案の概要
15	8	建設業	60歳代	被災者は、工事現場において、ブロック積み作業に従事していたが、午後2時過ぎ頃に体調不良を起こし、その後死亡した。
16	8	建設業	20歳代	被災者は、工場内において、電気機器の設置工事作業に従事していたが、午後5時頃に体調不良を起こし、その後死亡した。
17	8	建設業	50歳代	被災者は、工事現場において、コンクリートのならし作業に単独で従事していたが、午前10時過ぎ頃に体調不良を起こし、その後死亡した。
18	9	社会福祉施設	20歳代	被災者は、グラウンドにおいて、児童保育に従事していたが、午前10時過ぎ頃に体調不良を起こし、その後死亡した。

上記18人の死亡者のうち、

1. (1)17人については、WBGT値の測定を行っていなかった。
2. (2)13人については、計画的な熱への順化期間が設定されていなかった。
3. (3)5人については、単独作業を実施していた。
4. (4)15人については、自覚症状の有無にかかわらず定期的な水分・塩分の摂取を行っていなかった。
5. (5)10人については、健康診断が行われていなかった。
6. (6)4人については、糖尿病等の熱中症の発症に影響を与えるおそれのある疾病を有していた(疾病の影響の程度は不明)。
7. (7)1人については、体調不良、食事の未摂取または前日の飲酒があった。